

第1回西臼杵救急医療研究会

【今こそ現状を見つめる時】

平成24年9月21日（金）、保健センターげんき荘において「第1回西臼杵救急医療研究会」が、町内外の医療機関の職員、行政・福祉など様々な職種の方々の参加のもとに開催されました。研究会は、第1部・一般講演として当院内科医師・押方慎弥先生を座長に、2名の先生方が講演されました。まずは、「高千穂町国民健康保険病院における救急医療の現状」として、当院外科医師・桑原暢宏先生が講演され、次に、熊本赤十字病院救急科医師・荒武寛幸先生による「宮崎と熊本の救急医療を経験して」という演目の講演がなされました。

その後、第2部特別講演として、当院病院長・箕田誠司先生を座長に、熊本赤十字病院救急科部長・奥本克己先生に「熊本赤十字病院の救急医療体制」という演目でご講演頂きました。僻地である西臼杵の救急医療体制。都市部と僻地の間に生まれる救急医療の壁が打破される明日を目指し、研究・前進していく時こそ今なのです。

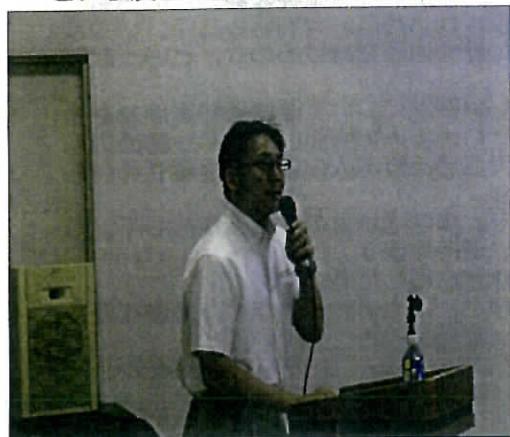
【救急医療の充実を図るために】

現在の少ないスタッフ数で当院の救急医療の充実を図っていくのは容易なことではありません。しかし、都市部との明らかな医療格差を埋めるには、救急医療の充実が急務となります。そのためには、個々のスタッフのスキルアップを図ることによる医療の質の向上、患者様が安心して当院の医療が受けられるよう、病院機能の強化も図っていく必要があります。今後もこのような勉強会・研究会等積極的に行い、職員相互で高めあい、もっともっと信頼される医療機関となるよう努めてまいります。

町民・郡民の皆様の明日の医療のため、今後も病院職員一同頑張ります！



↑熊本赤十字病院救急科荒武寛幸医師「宮崎と熊本の救急医療を経験して」という演目で講演して頂きました。



↑熊本赤十字病院救急科部長奥本克己医師「熊本赤十字病院の救急医療体制」という演目で講演して頂きました。



↑当院内科医・押方慎弥医師 桑原医師・荒武医師による第1部講演の座長としてとりまとめいただきました。



↑当院病院長・箕田誠司医師 熊本赤十字病院奥本医師による第2部講演の座長、また、研究会の主催にもご尽力頂きました。



↑当院外科医・桑原暢宏医師 第1部講演において当院における救急医療の現状についてご講演頂きました。

今後も当院における勉強会・研修会等の様子を紹介していきます。

連載シリーズ「終末期医療を考える会」

Part3 「リビングウィル」について



↑ 1階会計待合のホワイトボードに原本を用意しています。その他1階には掲示板を利用し多数のポスター等掲示しています。詳しくは相談室で対応しております。



↑ 3階病棟・4階病棟のエレベーターの壁にも掲示し、原本もご自由に取って頂けるようにしております。興味のある方はお気軽にどうぞ！

今後の活動の1つとして、「事前指示書（リビングウィル）」の作成と普及を掲げております。

「リビングウィルLiving will」というのは、「生前の意思」という意味で、判断能力が無くなったり、意思表示ができなくなったときに、自分の最期の迎え方について、事前に表明しておくことを示し、日本では、「生前の意思表示」とか、「事前同意書」という言葉が使われています。

一昔前なら老衰して自宅で死を迎えていた場合でも、今は病院に連れて来られたら救命処置をして、延命のための治療をすることになります。病院には、何らかの医療行為をして救命するのが仕事ですので、自然死を静かに迎えるコースにはなかなかありません。

それが患者様ご本人やご家族にとって本当に幸せなのか、と考えて、行動を起こし始めた人たちがいます。自分の最期の迎え方は自分で決定したい、という人が意思表示をし、それを尊重してほしい、と社会に訴えて日本安楽死教会（後の日本尊厳死協会）が1976年にできました。

医療現場でしばしば直面するのが、①認知症で寝たきりになって意思表示もできない方が、口から食べることができなくなった時に、管を胃に入れて栄養を摂らせる延命治療（経管栄養）をするべきか、ということや、②急患で救命のために人工呼吸器をつないだものの、意識の回復が見込めないと判断した時、いつまで人工呼吸などの延命治療を続けるのか、といった問題です。

そのような難しい問題について医療者や家族が参考にする材料の1つに、本人の判断能力があった時の意思があります。できるだけ本人の意思を尊重するべきだと思うからです。

私たちの会でも、事前指示書の用紙を作成して、院内の数ヶ所に置いてあります。

- 内容は実際の状況に即したもので、
- ①がんの末期など、不治の病にかかり、余命が長くないとわかった場合の告知について
 - ②がんの末期など、不治の病にかかり、余命が長くないとわかった場合の治療について
 - ③認知症で周囲の人と交流できず、食事を口から食べられなくなった時
 - ④高齢になって認知症はないが、食事を口から食べられなくなった時

の4項目に分けて意思表示できるようにしました。次回はこれらの具体的な内容について述べていく予定です。

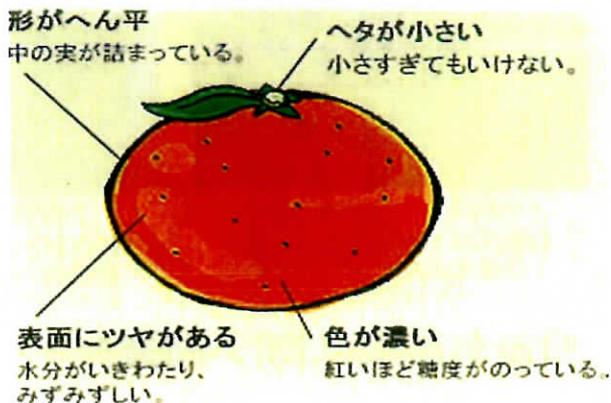
（文責 興梠 知子）

「旬」で豆知識！

「みかん」

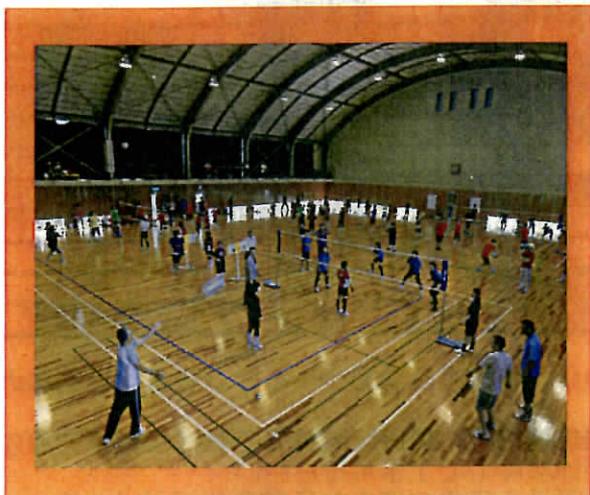
みかんの白い薄皮部分には、ビタミンP（ヘスペリジン）が含まれ、血管を強くし、動脈硬化を予防します。また、オレンジ色の色素には、β-クリプトキサンチンが豊富で、強い抗酸化作用、抗癌作用を発揮します。みかんにはビタミンCも豊富なため、これから風邪予防のためにも召し上がってみてください！

【おいしいみかんの見分け方】



「第1回県北国保診療施設ミニバレーボール大会」が開催されました!

「10施設19チームが白熱した闘い!!」



↑ 熱戦の様子

平成24年9月1日土曜日に「第1回県北国保診療施設ミニバレーボール大会」が、諸塚村民体育館にて開催されました。大会には、諸塚、椎葉、西米良、都農、南郷、北郷、西郷、日之影、五ヶ瀬、高千穂の計10施設の国保診療所から、19チームが参戦し、白熱した闘いが繰り広げられました。当院からは1チーム、6名の選りすぐりの精鋭達が参加し、予選リーグを椎葉Bチームと都農Aチームと闘いました。予選は余裕(!?)の勝利でまさかの1位通過でした! 決勝トーナメント1回戦はなんとシードで戦わずしてベスト8進出(笑)。準決勝進出をかけたの対決は、南郷・北郷の連合チームとの熱戦! お互い譲らぬ試合となりましたが、惜しくも最終セット21-18で悔し涙を飲みました……。なお、西臼杵勢は、日之影もベスト8に進出し、五ヶ瀬においてはAチームが堂々の準優勝の好成績をあげました!

「諸塚料理に舌鼓♪」

大会終了後には、参加した全ての国保診療施設で懇親会が催されました! 諸塚のおいしいお野菜をふんだんに使ったお煮しめや、肉厚の椎茸で作った「椎茸寿司」、どれも絶品でした! 諸塚診療所の皆様、心のもったおもてなしありがとうございました! 懇親会では、諸塚診療所をはじめ、椎葉村国保病院等の余興も行われ、場内は大爆笑! 恥かしがり屋さんの当院一行は余興が始まると、巻き込まれるのを恐れ、各々散らばってしまう始末でした(笑)。「皿の裏にシールが貼ってある方は前へ!」という余興中、シールが貼ってあった中尾事務長。結果は言うまでもありません(笑)。深い渓谷にある諸塚村。側には透き通った清流が流れ、心地よい秋風と、太陽と自然の恵みいっぱい土地で、とても良い所でした! 皆さんも機会があれば是非諸塚村へ行かれてみてはいかがでしょうか?

トーナメント表

【ベスト4】

- 17-21
- 21-14
- 11-21

五ヶ瀬 A | 南郷・北郷 B | 南郷・北郷 A | 西米良 A

【総合】

- 1位 西米良診療所A
- 2位 五ヶ瀬町立病院A
- 3位 南郷・北郷連合A
- 4位 南郷・北郷連合B

【西臼杵勢】

- 五ヶ瀬 準優勝
- 日之影 ベスト8
- 高千穂 ベスト8

売店のマドンナ吉田さんに聞く!! 売店売れ筋ランキング★

- 1位 伊藤園 おーい、お茶
- 2位 オロナミンC
- 3位 介護用品 (おむつ、手袋)
- 4位 ミニラーメン
- 5位 ポンタンアメ、千ロルチョコ

一押し!!
吉田さんおすすめ! 新商品
フルボン
じゃがchoco



↑ 売れ筋ランキング第1位の「おーい、お茶」を手にする売店の吉田さん。いつも素敵な笑顔で接客してくれます。患者さんの皆様もこの笑顔に癒されている方も多いのでは?

【週間担当医のご案内】

	月	火	水	木	金
内科1(再診)	赤谷 由佳				
内科2(再診)	—	非常勤医師	非常勤医師	非常勤医師	—
内科3(再診)	押方 慎弥				
外科	箕田 誠司	秋月 英治	箕田 誠司	桑原 暢宏	秋月 英治
整形外科1	塩月 康弘				
整形外科2	福島 克彦				
眼科	後藤 信祐	後藤 信祐	休診	後藤 信祐	後藤 信祐
小児科	興梶 知子				
循環器科	休診	時津 孝典	休診	休診	菊池 規子
耳鼻咽喉科	休診	伊勢 桃子	休診	休診	休診
泌尿器科	熊大医師	休診	熊大医師	休診	休診
皮膚科	神人 正寿	休診	境 恵祐	休診	熊大医師

※受付時間は、月～金、午前7：30～午前11：30、午後15：20～16：30（小児科のみ）までとなっております。

※原則上記時間帯での受付となっておりますが、急患の場合は、休日、時間外でも受け付けております。

※都合により担当医は予約なく変更になる場合がございますのでご了承ください。

※学会、研修等への出席、その他都合により、休診、医師1名での対応となる場合がございます。その際には、防災無線でご案内いたしておりますので、お間違えのないよう、ご確認をお願いいたします。

【お知らせ】

※12月より内科に「工藤静先生」が着任されます。これに伴い内科は3人体制の診療となります。

【インフルエンザワクチン接種のお知らせ】

11月1日(木)より、インフルエンザワクチンの接種を行っています。

インフルエンザワクチンの接種のみでご来院される方は

月・水・金

午後14：00～午後14：30の間に受付を行ってください。

高千穂町ご在住の方で	1回目接種料金	2回目接種料金(※1回目接種が他院の方)
65歳以上の方	2,000円	本人の希望もしくは医師が必要と判断された方 1,000円(※2,050円)
60～64歳で透析を受けている方	2,000円	本人の希望もしくは医師が必要と判断された方 1,000円(※2,050円)
妊婦の方(母子手帳が必要です)	2,000円	本人の希望もしくは医師が必要と判断された方 1,000円(※2,050円)
中学生～高校生相応の年齢の方	2,000円	1,000円(2,050円)
6ヶ月齢～小学生の方	2,000円	1,000円(2,050円)
上記以外の方・町外在住の方	3,600円	本人の希望もしくは医師が必要と判断された方 1,000円(※2,550円)

※生活保護の方は無料となります。

↓下の図はくしゃみによるウイルスの拡散スピード・距離を表したものです。図のように、くしゃみひとつで、130キロのスピードでなんと10mもウイルスが拡散するというデータもあります！



まずは「予防」することが大切！

まずは、しっかり予防に努めることが大切です。外出から帰宅した際や、日常生活の中でも、うがい・手洗い・マスクの着用など、インフルエンザウイルスに感染しないよう心がけて生活しましょう！！

【高千穂町国民健康保険病院】

〒882-1101 宮崎県西臼杵郡高千穂町大字三田井435-1

TEL: 0982-73-1700
FAX: 0982-73-1710